

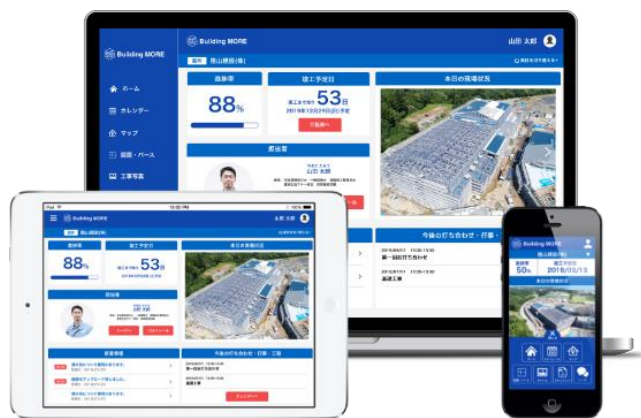
## DXの力でより身近に、よりオープンに！建設現場を変える挑戦

### 陰山建設株式会社（福島県郡山市）

建設業 資本金4,500万円 従業員数49名

#### 会社概要

1954年創業の建設会社。公共工事から民間工事まで、あらゆる建築物の施工及び改修を行う。現在はDXによる「建設現場を変える挑戦」に取り組み、ドローンの活用や建設情報可視化アプリ「Building MORE」の自社開発など、顧客満足度や生産性の向上にチャレンジしている。



県内建設業界に先駆けてICT施工・ドローンを導入し建設現場を変革！  
さらに幅広い建設プロセスをカバーする建設情報可視化アプリ  
「Building MOREシリーズ」を自社開発

#### 取組の背景は？

建設業界において今後ますます労働力不足が懸念される中、中小企業のデジタル化が遅れている。特にビルなどの一般建築では「請負構造は多層化しており、DX化が困難」という課題があった。

そこで、建設業自身の目線で、「元請会社・協力会社・作業員・施主」という建設現場に携わる全ての方々の異なるニーズ・視点に合わせた3つのアプリ（ビルモア・ビルプラ・ワーカー）を開発した。

#### 具体的な取組内容は？

- クラウドやIoT活用が困難と言われている建設業界において、段階的に社員のITリテラシー醸成に注力し、2011年頃より県内建設業界に先駆けてICT施工を導入した。また、2017年にドローンを導入し、2018年4月には全ての新築現場で自社パイロットによるドローン飛行を実現した。
- 自社内に「DX推進室を設置」し、2018年2月より、建設情報可視化アプリ「Building MORE（ビルモア）」の開発に着手。同年8月、地方建設業のDX推進をミッションに掲げるビルディングサポート株式会社を設立。ビルモアの機能強化・深化に取り組んでいる。

#### 建設情報可視化アプリ「Building MORE（ビルモア）」とは？

建設現場のデジタル化・情報一元化により、以下を実現する。

- ① 顧客満足（CS）向上  
～現場の状況をアプリで確認
- ② 生産性向上  
～各種書類の作成や 報告・指示もアプリで簡単・正確に
- ③ 建設現場の情報共有  
～会社間、従事者間の情報共有・連絡もアプリで簡単・正確に
- ④ 労働環境の整備  
～働き方改革に対応した勤怠管理が可能

## 工夫した点は？

- DXの取組を推進するにあたり、特定の社員をハイスキルな人材に育てるのではなく、全従業員のITの知識を底上げすることを意識。
- ビルモアの自社開発にあたって、現場のITリテラシーを無理に高めるのではなく、アプリの方を現場のITリテラシーに合わせることを重視。「画面が見やすく、操作が簡単で、誰でも使える」をコンセプトに、幅広い建設プロセスをカバーする、建設情報可視化アプリを実現。
- 現場全体をデジタル化するために、現場に関与する者のニーズに合わせて 3つのアプリを開発。“現場丸ごとデジタル化”を実現させるようにした。

## 効果は？

- 「ビルモア」の活用により、福島県の改修工事を受注し、建設現場の可視化と精密な調査を行い、優良建設工事表彰を受賞。
- 経営者や管理者がデバイス一つで建設現場を確認できる状況を作り、現場監督の業務改善に貢献。また 建設現場で働く全ての人々の業務効率化を実現できた。
- 建設現場における情報の可視化と情報共有が、よりスピーディ且つ正確に行えるようになった。
- コミュニケーション機能の活用により、元請会社・協力会社・作業員間のコミュニケーションが従前と比べスムーズになり、言い間違いや聞き間違い・指示の抜け漏れ等が減少した。
- 施主Web・工事写真等の活用により、顧客満足度の向上、従業員満足度の向上を同時に実現できた。
- 現場作業員の意識が変わり、建設現場が整理・整頓された。
- ビルモアシリーズの開発・利用を含む一連のDX取り組みを通じ、新卒採用者数の増加、女性社員の活躍、ベテラン社員のリスクリング等が進んだ。



ドローン空撮の様子（陰山建設HPより）